

会議結果報告書

1. 会議名 令和7年度 第1回 印西市環境推進会議（市民会議）
2. 日時 令和7年5月2日（金）9：30～11：30
3. 場所 市役所 会議棟 204会議室
4. 出席委員：小山会長、白川副会長、岩井委員、ERIC LIN 委員、片桐委員、國武委員、久保菌委員、小林委員、富川委員、橋本委員、福井委員、村形委員、渡辺委員
事務局：藤代市長、富澤環境保全課長、増田保全係長、浅井主査補、及川主任主事

5. 傍聴者 0名

6. 配布資料

- ・会議次第
- ・令和7年度の印西市環境推進会議（市民会議）の活動について
- ・令和7年度印西市環境推進会議（市民会議）スケジュール（案）
- ・令和7年度「いんざい環境フェスタ」実施計画書
- ・印西市環境行動指針 市民編
- ・印西市環境推進会議設置要綱

(1) 開 会

(2) 委嘱書の交付

(3) 市長挨拶

(4) 自己紹介

(5) 議事

- ・会長・副会長の選出について

事務局：会長・副会長が決まるまでの間、富澤環境保全課長に議長をお願いする。

議長：印西市環境推進会議設置要綱第5条において、市民会議に会長及び副会長を置き、委員の互選により定めるとされていることから、新たに会長・副会長の 選出をお願いする。
どなたか、会長・副会長に立候補または推薦される方はいるか。

委員：立候補、推薦がないのであれば事務局一任でどうか。

—異議なし—

事務局：立候補や推薦がないようですので、事務局一任とさせていただきますよろしいか。

—異議なし—

事務局：それでは、前任期におけるご経験などから、会長に小山委員、副会長に白川委員にお願いできればと思いますが、いかがでしょうか。

—異議なし—

議長：小山委員、白川委員、お引き受けいただけますでしょうか。

委員：承知した。

議長：それでは、会長に小山委員、副会長に白川委員ということで決定する。事務局に進行をお返しする。

事務局：この後の進行は、会長に議長をお願いする。

- ・いんざい環境フェスタについて

議長：議題の2、令和7年度の環境推進会議（市民会議）の活動についてということですが、環境フェスタのほうが重要なのでそちらを先に決めましょう。

事務局：承知した。

—いんざい環境フェスタについて事務局より説明—

議長：環境フェスタに参加したことがない、行ったことがないっていう人は何人いるか。環境フェスタというのはイオンモールでやっているのですが、ブースが大体20個ぐらい出ていて、それぞれクイズを出したり、説明をしたりしてスタンプラリーで回っている形式をしている。私たちの会としても、簡単なクイズをしてクイズを答えてくれた人にスタンプを押すということをやっている。来る人たちに環境のことを話したり、あるいは印西の取り組みをお知らせしたりするのがこの会議の、環境フェスタでの目的となっている。どんなふうにしたらいいか案があれば、去年やった人の反省も踏まえて、意見を忌憚なくお願いしたい。特に若い人の意見を聞きたい。

委員：去年が初めてだったのですが、来る方は家族連れが多かった。クイズを前回出したと思うのですが、好評だった。特定外来生物について、買ったなら死ぬまで責任持って飼うっていうルールが明文化されているのは、子供も親御さんもそうなんだという認識をされていたので、今回もクイズみたいなもので出せると、親子連れも楽しめて、特にザリガニとかペットとか飼育系の話だと、子供も楽しいし親も、子供が勝手に持って帰ってきたときに、そこら辺にポイッと捨てないようにとか、意識することが増えると思うので、そういった親子向けのクイズを楽しめるところを今年もやっていくのがいいと思っている。

委員：去年の様子を見たら、人が多く固まってしまったことがあったので、クイズの配置や導線を考えたほうがいいと思う。

議長：どんなものだったらみんなが食いつくか、地球温暖化にしても生物多様性にしても、どういうものだったら本当に興味のない人が食いついてくれるかなというところで、どんなことがいいか考えてみてください。

委員：去年はクイズに答えた人にプレゼントがあったと思う。トートバッグがすごく人気だったので、今年もトートバッグの用意はできそうですか。

事務局：昨年配りましたトートバッグに関しては、印旛沼環境基金というところから啓発物資としていただいていますので、今年また環境フェスタ等で配れるよう発注いたしましたので、十分な量はあると思う。

委員：印西の身近な自然の魅力にもっと気づきやすいような展示があるといいなと思っている。環境保全という視点からダイレクトに入るだけでなく、レジャーやスポーツ、農業体験とか、そういう日常の生活から入りやすいようなところで、印西の自然が楽しめるよってということが伝わる展示があるといいのではないかな。

委員：去年はザリガニとカーボンニュートラルの2問だった。2問をやるとお客さんが並んでしまう。一昨年はすごく並んでしまったので去年は2問に減らしたのですが、並んでしまった。ある程度は仕方がないと思うのですが、できれば1問にしたほうがいいと思う。去年はザリガニで特定外来生物やりましたが、4月15日の広報でオオキンケイギクが出ている。今年もオオキンケイギクもいいのではないかな。キバナコスモスと似ているので花を2つ並べてどちらがオオキンケイギクかというような。1つの案として、オオキンケイギクというのも、環境推進会議としてはいいのではないかな。

議長：オオキンケイギクというのは、もう少しすると国道464号線にたくさん咲く黄色い花のことである。特定外来生物に指定されていまして、駆除しないと本当にどんどん

広がる。綺麗だからついつい植えたくなくなっちゃうような花なのですが、問題になっている。

委員：千葉ニュータウン中央駅の北側に新たなデータセンターができるような計画もあるようなのですが、環境フェスタで取り上げるというのはどうでしょうか。

議長：例えば、昔の印西のグーグルマップと、今の印西のグーグルマップを並べると、どれだけニュータウンが広がって、緑が消えたかというのがはっきりわかる。

事務局：データセンターの進出について、環境フェスタでの展示はそぐわないと思われる。

委員：議長のプレゼンの資料を並べたら移り変わりの絵が見せられますか。

議長：見せられると思う。昔の緑のあった印西と今の灰色の印西ですね。データセンターができたとか、住宅地もいっぱいある。だからこんなに変わったよということで、写真を並べてみるっていうのは、開発が悪いというふうに一方的に主張しているととらえられるとちょっとまずいかもしれないけど、ありかもしれない。

事務局：例えば20年前の写真と、今の写真、航空写真とかで見比べていただくというのは印西市の移り変わりというのが、皆さんに知ってもらえる。最近引っ越してこられた方がいらっしゃるといようなお話もあったので、興味を持ってもらえるのではないかと。まだ印西市の中にこういった自然も残っているっていうようなPRをしていけば、非常に有効なのではないかと考える。

委員：開発によってどんな弊害が起こっているか、どんな破壊が起こっているかってのも一般事項ですので、業者を名指ししなければ、こういったことが起こっているってことを並べるのは、問題がないのではないかと考えている。それによって排水の問題があったり、森林減少の問題があったり、ヒートアイランド現象が加速していくなど、そういう問題はちゃんとやってあげないと、人によっては開発されてよかったねで終わってしまうかもしれないので、そこはちゃんとやっていくべきだと思う。

議長：それでは展示物は、グーグルマップの20年前と今の、変わりゆく印西でいきます。

委員：展示物について、広報いんざいの5月号で駅周辺のまちづくりに関する市独自の新たなルールづくりについてということで市長が意見募集をされていると思うのですが、6月7日までに市に寄せられたまちづくりの意見の、まとめられるものがあれば冊子で配布するとかどうでしょうか。

事務局：担当課に確認させていただく。

委員：去年エコカレンダー配って評判よかった。今年も半年過ぎてしまうのですが、配る準備したらいいと思うのですがどうでしょうか。

事務局：エコカレンダーはこちらで印刷すれば準備できますので、50部程度刷って準備することはできます。

委員：車の交通量を減らすという意味で、なるべくデマンド交通をとという案を出していた。

委員：デマンド交通については、市として取り組みがあるのであれば、それを周知するのは良いことではないか。

委員：自動車利用を減らせば、排出ガス削減、脱炭素化に繋がる。一方で、自動車利用が制限されると、買い物や通院等で困る人も出てくる。そうした人々を支援する、乗り合いタクシーのような簡易的な交通手段が実現できれば、利用者は希望する時間に目的地へ移動でき、かつ自動車総量も削減できるという利点がある。

- 委員：広報の一面に6月から、高齢者の移動支援策を拡大しますというのが5月1日から受け付けということで大々的に出ているので、これをそのまま掲示してもいいのではないかな。
- 委員：フェスタで混み合っているときに、説明員が説明する量の長さによって混んでいる、混んでいないというのがあった。しっかり説明したいという思いが強いと、どうしても説明の量が増えて後ろに並んでしまう。何かアクションを取るという、シールを貼るとか、いんザイクんのワッペンか何か用意しておいていんザイクんを完成させると何が成り立つよとか、アクションを1つ取らせることによって認知してもらうというのはどうでしょうか。説明内容を一方的に伝えるだけでなく、参加者が自分事として捉えられるような工夫が必要である。手を動かしたり、何かを完成させたりする能動的な参加が有効だと考える。
- 委員：説明方法について、去年は説明箇所が2か所あった。そのため、1か所目で時間を要すると、次の箇所へ進めず滞留が生じたと思われる。先ほども述べたが、両側から入れるようにするなど動線を工夫する、あるいは今回クイズが一種類になるのであれば、それも改善に繋がるかもしれない。全体に周知したい内容は、ブース奥ではなく、手前に立て看板等を設置し、待機中に読んでもらう、あるいは説明員が解説するといった方法も考えられる。
- 委員：長年、環境フェスタに関わってきた経験から、来場者は子供が非常に多い。子供に難しい話をしても理解されない。簡単なクイズ、例えば子供向けのクイズと大人向けのクイズの2種類を用意する方が良いと考える。クイズに正解すると景品がもらえるため、それを目当てに子供たちが集まってくる。子供向けの配慮は絶対に必要である。また、今回参加される皆様におかれては、他の活動を優先せざるを得ず、参加したくてもできない委員もいるという点を理解してほしい。
- 委員：現実的な問題として、委員の中には他のブースを担当される可能性がある。つまり、説明員が不足するのである。加えて、晴天の場合は非常に暑い。その中で、限られたスタッフが多数の来場者に対応しなければならない。必然的に行列ができ、運営はかなり厳しい状況となる。お願いとしては、1時間でも2時間でも結構なので、ローテーションで担当いただけると、運営が円滑に進むのではないかと考える。
- 委員：最低でも常時3名は必要になると思われる。
- 議長：運営体制については、各自が協力可能な時間帯を事務局に提出し、事務局で調整していただく、という方向でどうか。展示物については、自動車利用削減に関する展示は、単に広報記事を掲示するだけでは注目されない可能性があるため、キャッチコピー等の工夫が必要であろう。他に印西の今と昔、身近な自然に関する展示、クイズについては、大人向けと子供向けの2種類を用意する案が出たが、それでよろしいか。大人向けはオオキンケイギク。子供向けは、花には興味を示さない可能性もある。
- 委員：オオキンケイギクは通学の途中でも見るものだから、これはだめなんだっていう意識を持ってもらうというのは絶対必要だと思う。興味がなくても、これがだめという意識を持たせる意味では花の問題というのは良いと思う。
- 委員：外来種の件で言うと、そのお庭に植えがちな侵略性のある外来種の一覧みたいなのをお渡しできると、庭からの逸脱を防げていいのではないかなと思う。
- 委員：去年、風船があったのですがパンパンと割れてしまうのでやめませんか。

委員：風船は海洋生物に対する影響など環境保全のイメージとはかけ離れている。それよりもゴーヤの苗など、そういうグリーンなものをお渡しするのがいいのではないか。

事務局：グリーンカーテンとかゴーヤの苗などにつきましては、市の共同事業でみんなのいっぽが隣で配布しているので、市民会議の方ではやらないほうがいいと考える。先ほどの5月1日の広報で出た駅周辺のまちづくりに関する意見募集についてですが、内容が都市計画法とか建築基準法とか、かなり専門の詳しい内容の説明が必要になってくるのですが、今回環境推進会議としての出展となるので、こちらを説明できるものがない。したがって、そぐわないと考えている。

委員：外来種について、データを作るときの写真で、ネットでダウンロードするのですが、無料でダウンロードして公表してもいいのと、そうでないものがあり、誤って使用してしまうリスクがある。

事務局：生物多様性センターの方で基本的に啓発とか教育のためであればいただくことができます。キャプションとして生物多様性センターというものを付ければ使用は可能だと思ふ。

委員：オオキンケイギクの写真を見せて市民にどうしろと言うことなのか。

委員：オオキンケイギクの問題は目に見えてわかりやすいので、そういう外来生物を気軽に植えてしまうと、問題になってしまうということの代表格として紹介するのはありだと思ふ。

委員：オオキンケイギクの実物を展示することは可能か。

委員：特定外来生物の扱いは注意が必要である。処分目的なら採取可能だが、原則として移動は制限される。

事務局：特定外来生物であっても、展示目的であれば、届け出により生体での移動も可能である。根が付いた状態ではなく、切り花のような状態であれば、届け出なしでの持ち運びも可能と考える。

委員：オオキンケイギクの実物は入手困難である。まず写真を用意しておき、もし実物が入手できれば追加で展示するという形で良いのではないか。

事務局：そろそろ展示物についてまとめに入りたい。アメリカザリガニ、オオキンケイギクのクイズ、デマンド交通、印西の今と昔、身近な自然、外来種の植物リスト、ICNC2050でよろしいか。準備は提案した各委員で行ってほしい。

議長：どのように伝えるか今後、マニュアルを作るので、その中で詰めていきましょう。マニュアルをどう書くかは、それぞれ自分の説明したいことを書いたら、提出されたものをもとに、私と事務局で相談してまとめて、再度皆様に確認を取りたい。参加できる時間については、事務局に連絡してほしい。

・令和7年度の環境推進会議（市民会議）の活動について

議長：順番が前後したが議題の2、令和7年度の環境推進会議（市民会議）の活動について事務局から説明願いたい。

—令和7年度の環境推進会議（市民会議）の活動についてについて事務局より説明—

議長：質問や意見はあるか。

委員：今年度は視察の予定はないのか。

事務局：現時点では予定していない。視察がしたいということであれば、委員のほうから提案していただければ検討したい。

議長：これからの活動については次回話し合ひましょう。次回、どこに行きたいか提案してほしい。以上で、本日の議事を終了する。

(6) その他

—事務局からの連絡事項—

(7) 閉会

以上

令和7年度第1回印西市環境推進会議（市民会議）の会議録は、事実と相違ないことを承認する。

令和7年6月16日

印西市環境推進会議（市民会議） 委員 小山 尚子

印西市環境推進会議（市民会議） 委員 岩井 邦夫